

目でみる 眼のはなし 検査のい・ろ・は

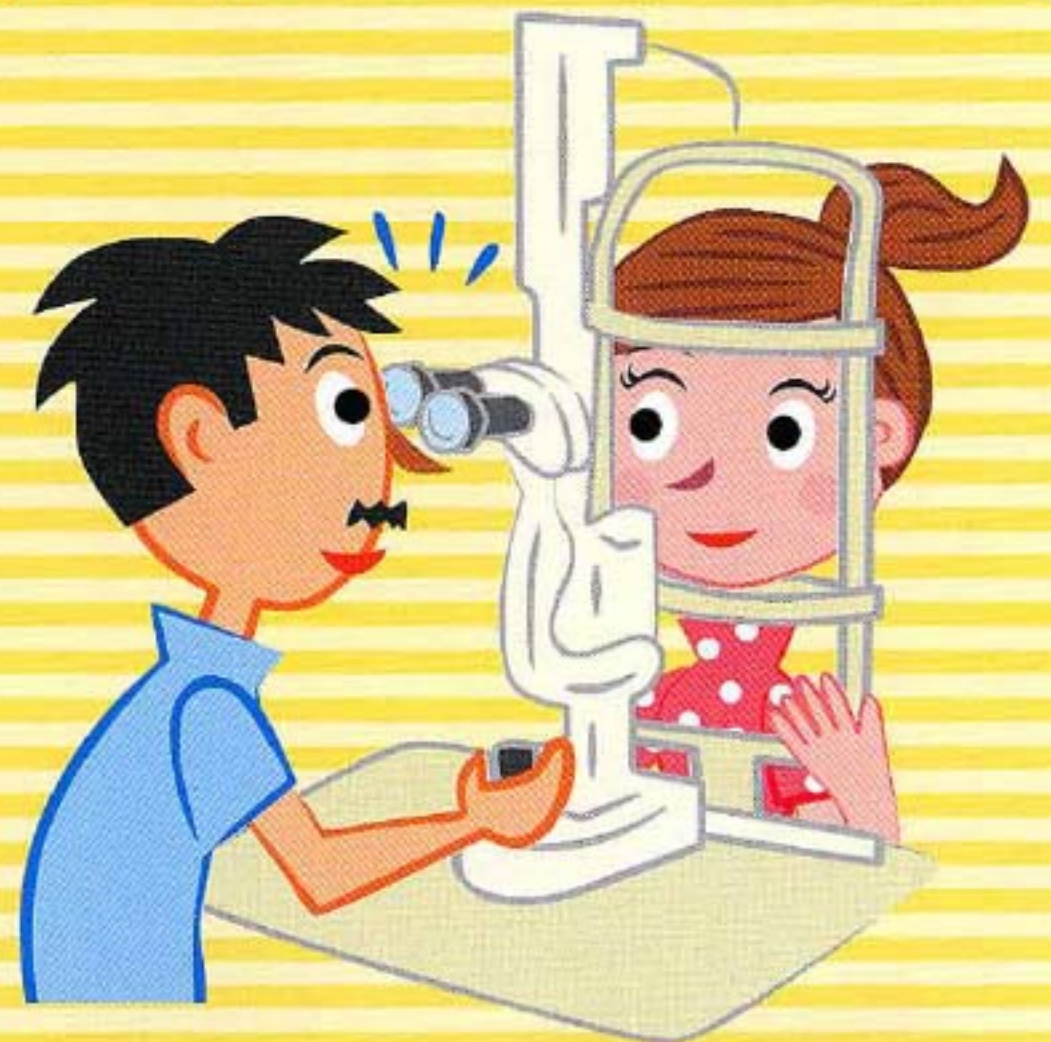
監修：和歌山県立医科大学
眼科学教室 教授 大西 克尚

5



Q どうして診察で検査が
必要なんですか…?

A 問診によって推測した診断を確定するために検査を行います。
目の病気がアレルギー性か否かによって、検査内容も違ってきます。
患者さんの目を観察して、次の検査内容を決めるために「スリットランプマイクロスコープ（細隙灯顕微鏡）」という特殊な顕微鏡を使いますが、この機械は眼科医にとっては聴診器のようなものです。



Q 花粉症などのアレルギー性の場合、検査の手順は…?

A 症状を診たあと、「結膜分泌物検査」を行います。
これは、結膜から出る分泌物中のリンパ球数（好酸球数）を調べる検査です。
アレルギー性の場合、結膜中の好酸球数が増えるため、アレルギー反応が起きていることが確認できます。

結膜分泌物検査

- ① 患者さんの“目やに”や“涙”などを採ります。
- ② スライドガラスに塗ります。
- ③ 染色して顕微鏡で好酸球の有無を検査します。

